

米国経済・金融概況 (2022年7月)

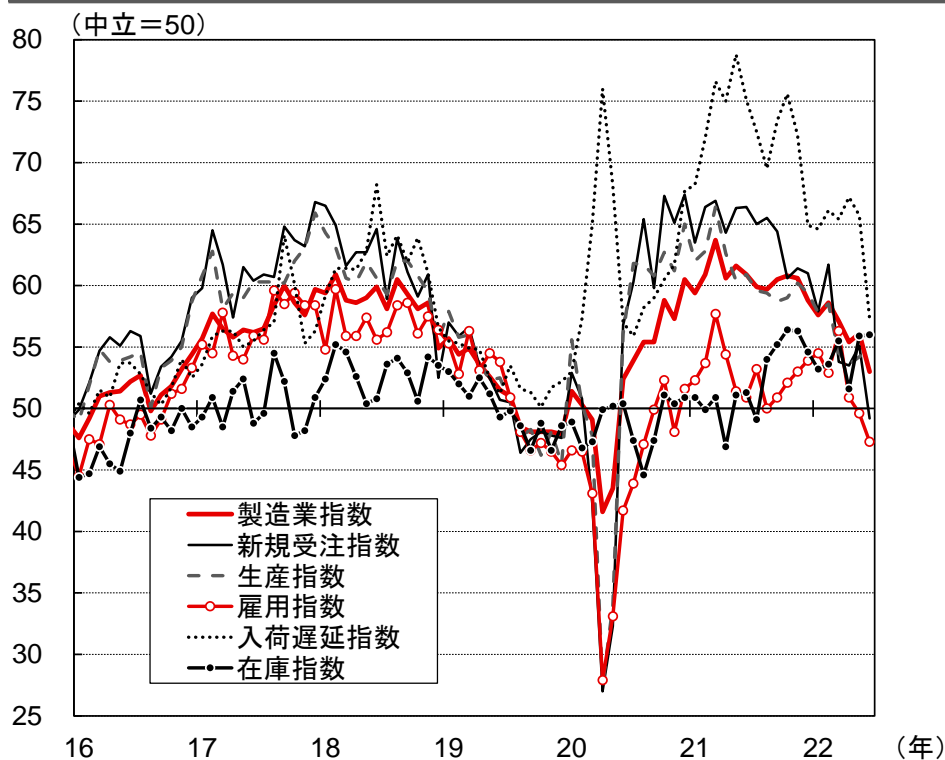
2022年7月15日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. 企業活動

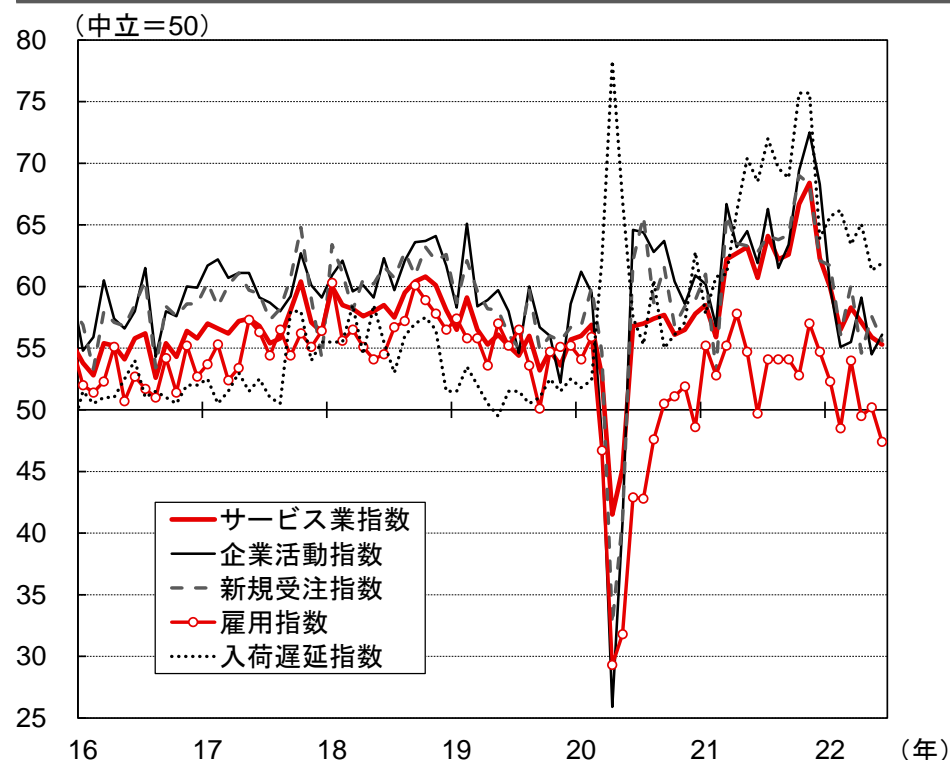
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数(総合指数)は、6月に53.0(前月比▲3.1)と2ヵ月ぶりに低下。指数の構成項目をみると、新規受注指数(49.2、同▲5.9)が拡大と縮小の境目である50を下回ったほか、雇用指数(47.3、同▲2.3)、入荷遅延指数(57.3、同▲8.4)も前月から低下。なお、総合指数は50を25ヵ月連続で上回った。
- 6月のISMサービス業指数(総合指数)は55.3(前月比▲0.6)と3ヵ月連続で低下。指数の構成項目をみると、企業活動指数(56.1、同+1.6)、入荷遅延指数(61.9、同+0.6)は前月から上昇した一方、新規受注指数(55.6、同▲2.0)、雇用指数(47.4、同▲2.8)は低下。総合指数は50を25ヵ月連続で上回った。
- 回答企業からは、「エネルギー価格上昇や人手不足によりコスト増加」(石油・石炭製品製造業)、「インフレによる生活必需品への支出拡大が裁量的支出を抑制、車の利用抑制による来店減に伴いインターネット販売が再拡大」(小売業)などのコメント。

ISM製造業指数の推移



(資料)全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移

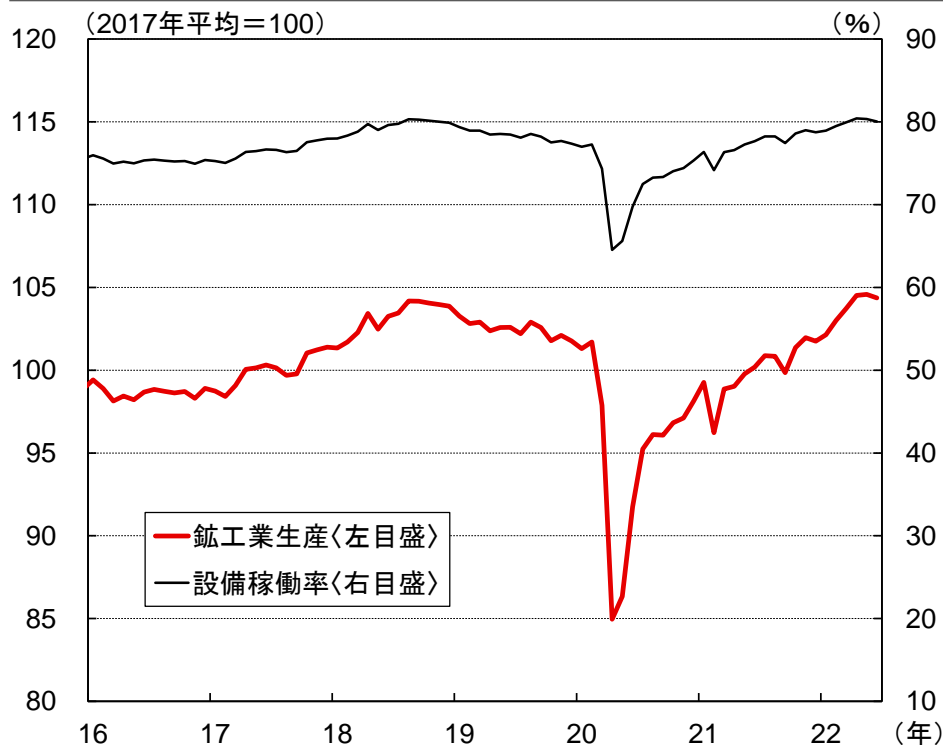


(資料)全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 生産

- 6月の鉱工業生産は前月比▲0.2%と6カ月ぶりに減少(5月+0.0%)。産業別にみると、全体の7割以上を占める「製造業」(同▲0.5%)が2カ月連続で減少したほか、「公益事業(電力・ガス)」(同▲1.4%)も減少。一方、「鉱業」(同+1.7%)はエネルギー価格上昇を受けた増産により増加。6月の設備稼働率は80.0%と前月比▲0.3%ポイント低下。
- 5月の耐久財受注は前月比+0.8%と3カ月連続で増加。内訳をみると、一次金属(同+3.1%)、機械(同+1.2%)、輸送用機器(同+1.0%)など多くの業種で増加。また、設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)も同+0.6%と3カ月連続で増加。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

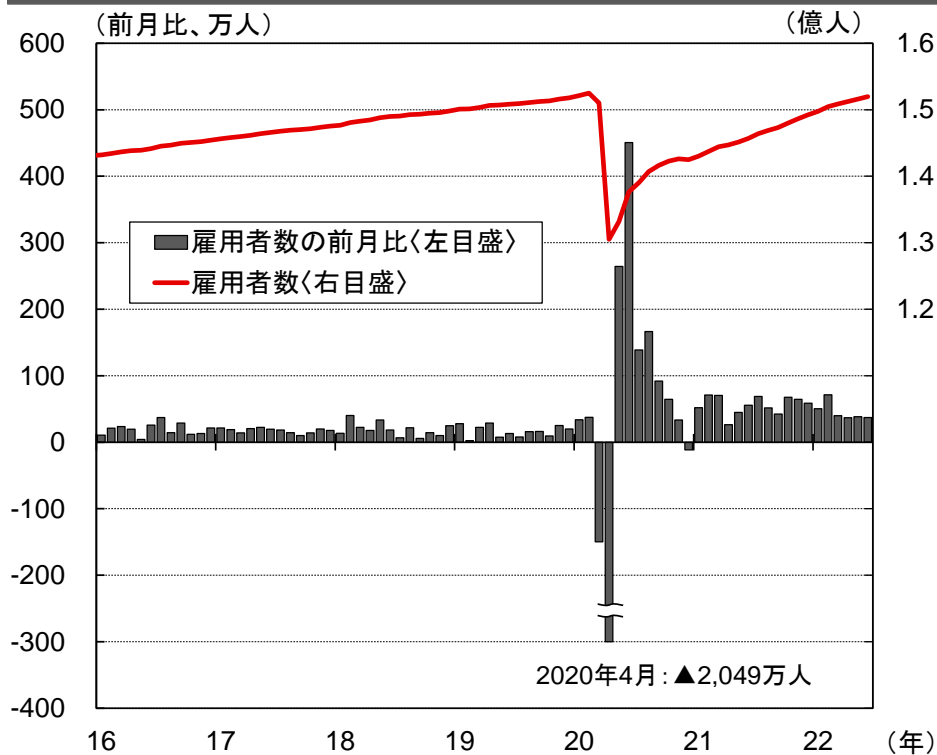


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 雇用

- 6月の非農業部門雇用者数は前月比+37.2万人と5月(同+38.4万人、改定値)に続いて堅調な伸び。業種別にみると、「専門・ビジネスサービス」(同+7.4万人)、「レジャー・飲食・宿泊」(同+6.7万人)、「医療」(同+5.7万人)など幅広い業種で増加。非農業部門雇用者数の水準はパンデミック前(2020年2月)に対して▲52.4万人(▲0.3%)。
- 6月の失業率は3.6%と4ヵ月連続で不変。失業者数は591.2万人(前月比▲3.8万人)。労働参加率は62.2%(前月比▲0.1%ポイント)と小幅低下。時間当たり平均賃金(民間部門)は前年比+5.1%と前月(同+5.3%)から鈍化。
- 5月の求人件数は1,125.4万件(前月比▲42.7万件)と2ヵ月連続で減少したものの、失業者数の約1.9倍の水準であり、労働需給の逼迫が継続。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

時間当たり平均賃金・求人件数・失業者数の推移

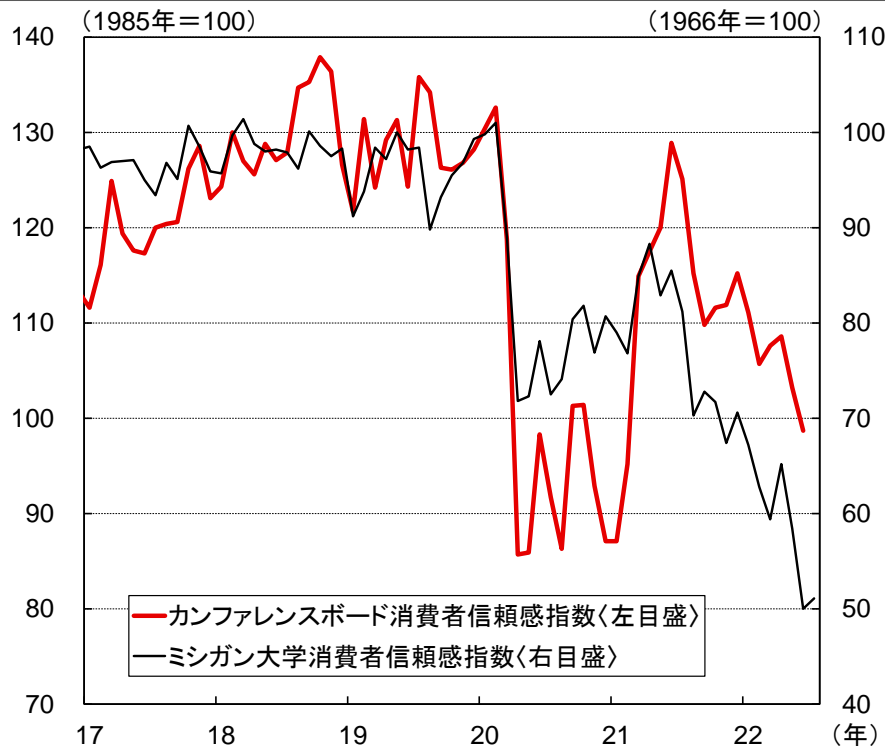


(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 個人消費

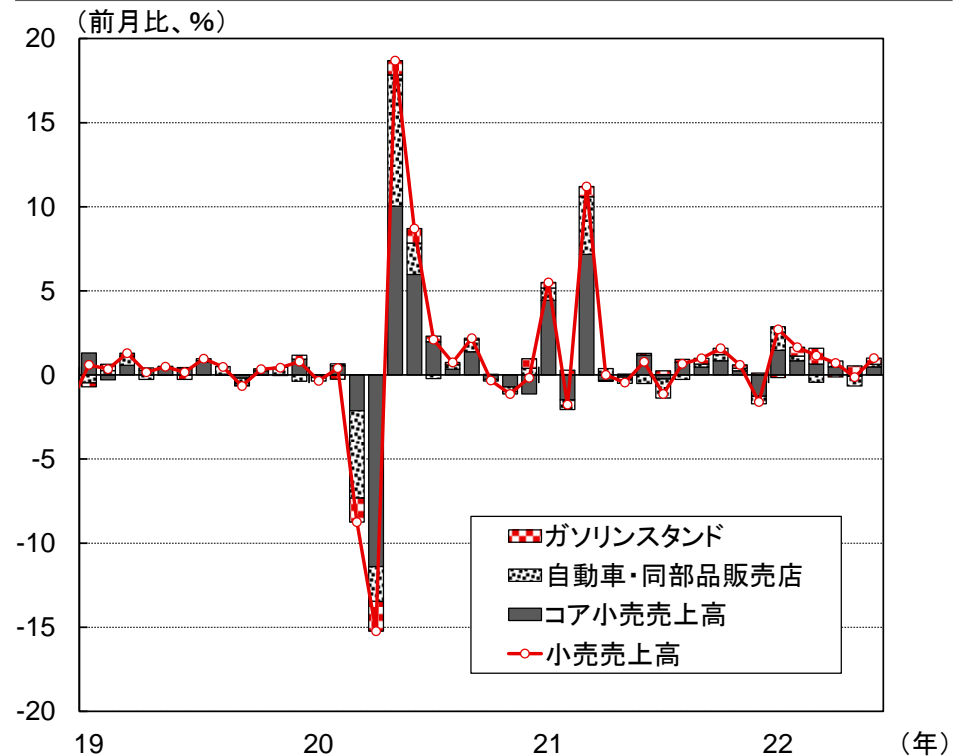
- 6月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は98.7(前月比▲4.5)と2カ月連続で低下。現況指数は147.1(同▲0.3)、期待指数は66.4(同▲7.3)と夫々低下し、期待指数は2013年3月以来の低水準に。一方、7月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は51.1(同+1.1)と、過去最低となった前月から小幅改善。6月半ば以降のガソリン価格下落を受けて、消費者の先行き1年のインフレ期待は5.2%(6月:5.3%)、先行き5-10年のインフレ期待は2.8%(6月:3.1%)と夫々低下。
- 6月の小売売上高は前月比+1.0%と2カ月ぶりに増加(5月:同▲0.1%)。業種別にみると、「ガソリンスタンド」(同+3.6%)、「無店舗小売業」(同+2.2%)、「家具等販売店」(同+1.4%)、「飲食店」(同+1.0%)、「自動車・同部品販売店」(同+0.8%)などが増加。変動の大きい「自動車・同部品販売店」と「ガソリンスタンド」を除いたコア小売売上高も同+0.7%と2カ月ぶりに増加(5月:同▲0.1%)。

消費者信頼感指数の推移



(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

小売売上高の推移

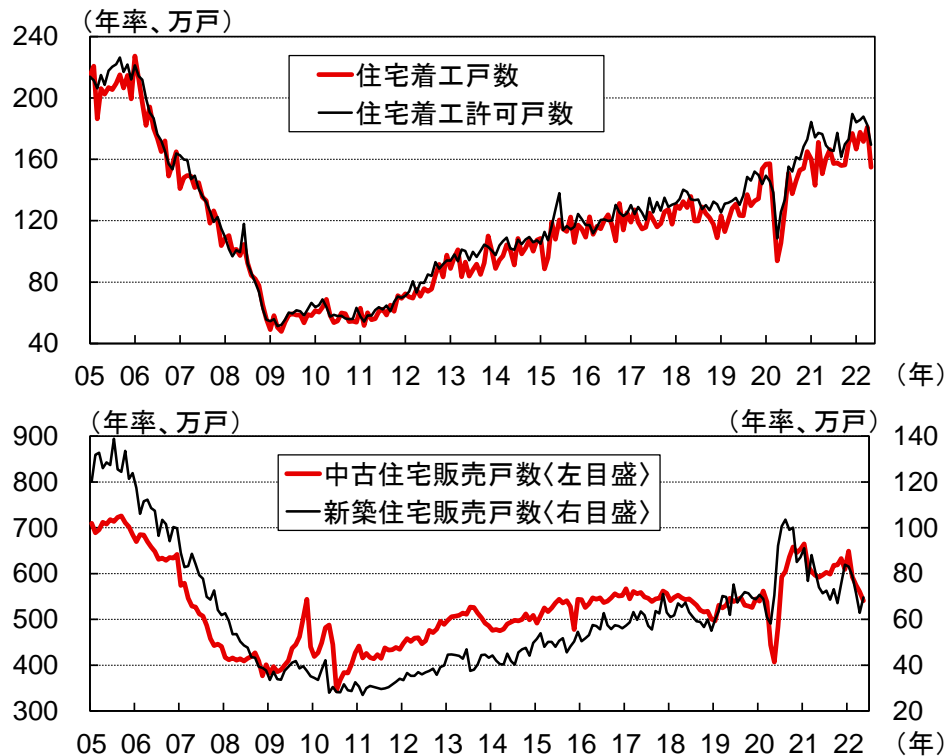


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅(1)

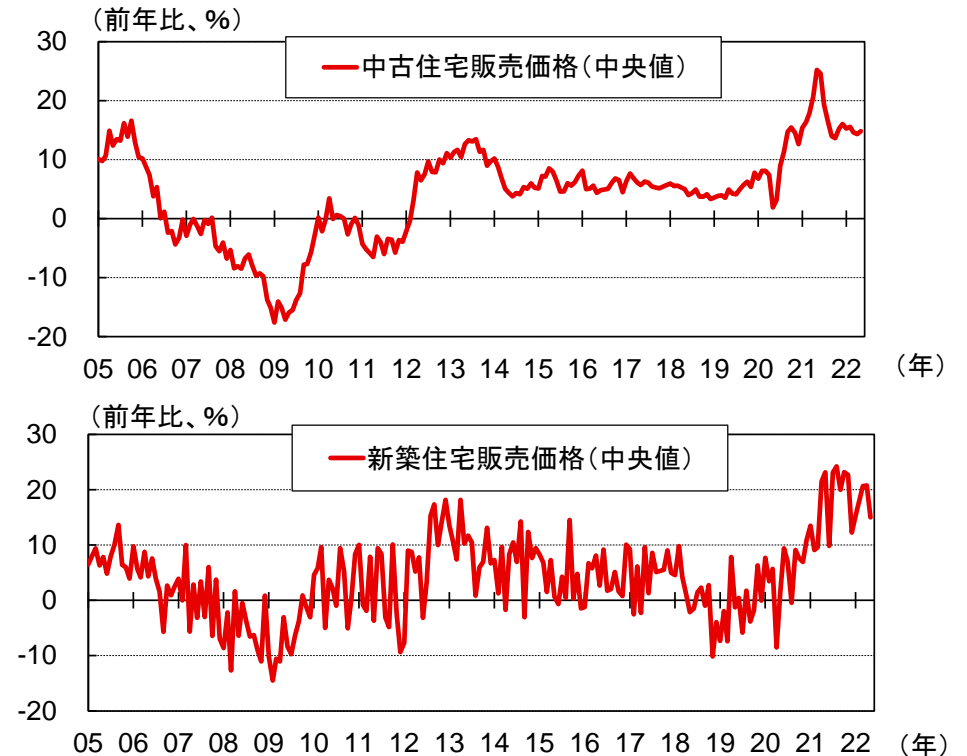
- 5月の住宅着工戸数は前月比▲14.4%の年率154.9万戸(季節調整済)と大幅に減少。内訳をみると、一戸建住宅が同▲9.2%、変動の大きい集合住宅(2世帯以上)は同▲23.7%と夫々減少。先行指標である住宅着工許可戸数も同▲7.0%の年率169.5万戸(季節調整済)と大幅に減少。
- 5月の住宅販売戸数は、中古住宅が前月比▲3.4%の年率541.0万戸(季節調整済)と4ヵ月連続で減少。一方、新築住宅は同+10.7%の年率69.6万戸(季節調整済)と5ヵ月ぶりに増加。
- 住宅販売価格は中古住宅が407,600ドル(中央値)、前年比+14.8%(4月:同+14.3%)と前月から伸びが加速。一方、新築住宅は449,000ドル(中央値)、同+15.0%(4月:同+20.7%)と前月から伸びが鈍化。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移

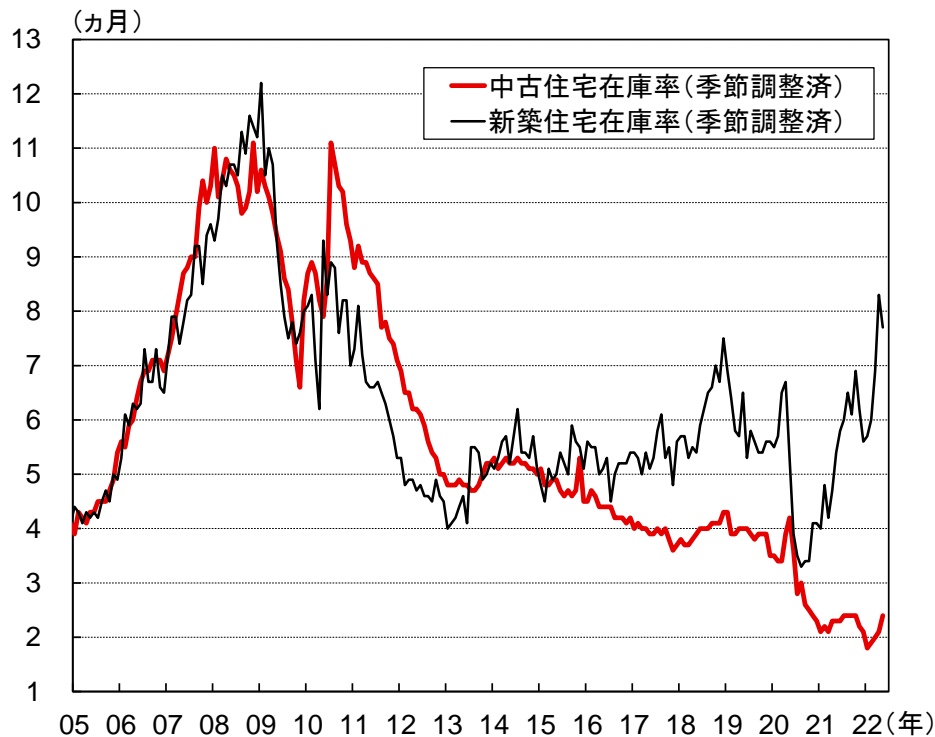


(資料) 全米不動産協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 住宅(2)

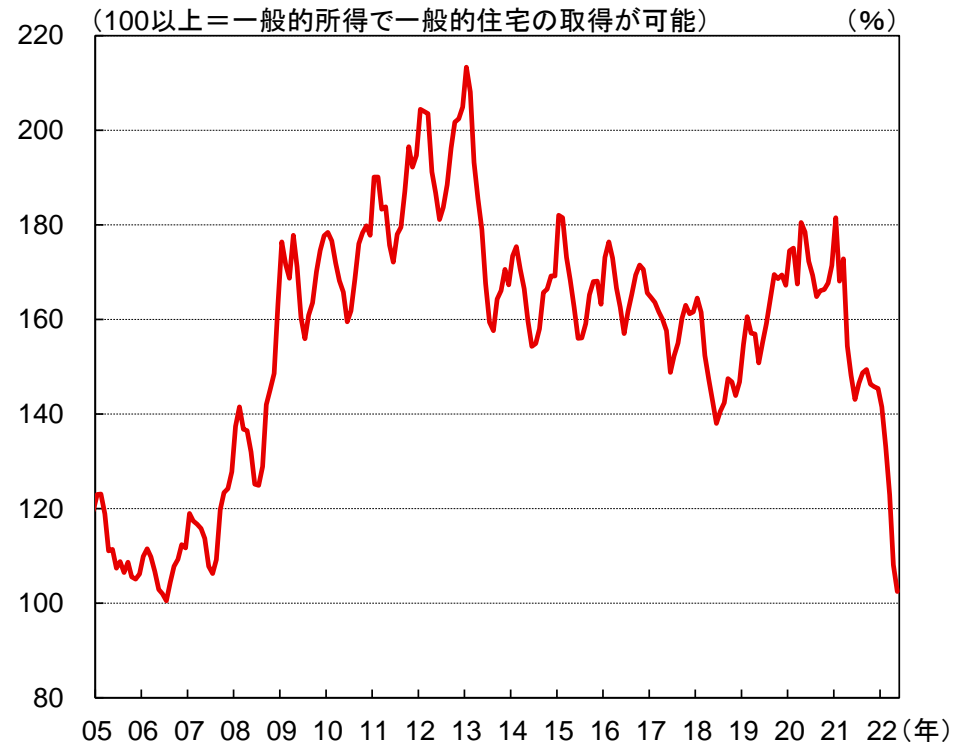
- 5月の在庫率は中古住宅が2.4ヵ月(季節調整済)と前月(2.1ヵ月)から上昇、新築住宅は7.7ヵ月(季節調整済)と、住宅販売戸数の増加を受けて前月(8.3ヵ月)から低下。
- 家計の所得、住宅価格、住宅ローン金利から算出される住宅取得能力指数は、5月に102.5(前月比▲5.6)と大幅に低下。

住宅在庫率の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅取得能力指数の推移



(資料) 全米不動産業協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 物価

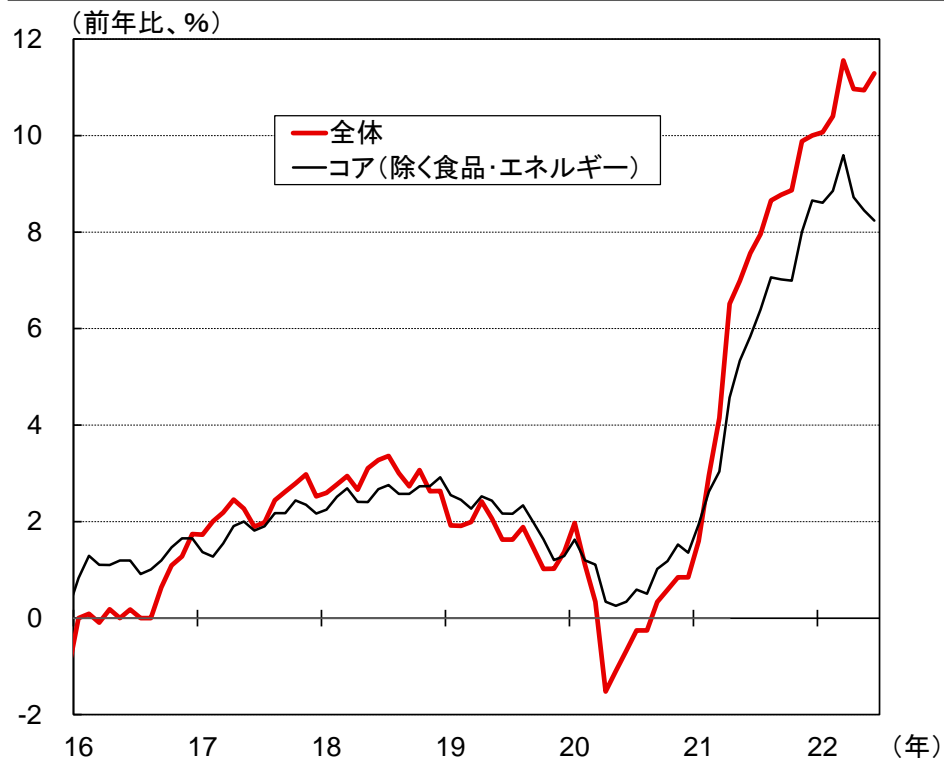
- 6月の消費者物価指数は前年比+9.1%(5月:同+8.6%)と伸びが加速し、1981年11月以来の高い伸びを記録。エネルギー(前年比+41.6%)、食品(同+10.4%)、家賃(同+5.6%)等の上昇幅が拡大。一方、食品とエネルギーを除いたコア消費者物価指数は前年比+5.9%(5月:同+6.0%)と3ヵ月連続で伸びが鈍化。
- 6月の生産者物価指数は前年比+11.3%(5月:同+10.9%)と再び伸びが加速した一方、食品とエネルギーを除いたコア生産者物価指数は同+8.2%(5月:同+8.5%)と3ヵ月連続で伸びが鈍化。内訳をみると、「財」(同+17.9%)は伸びが加速した一方、サービス(同+7.7%)は伸びが鈍化。

消費者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移

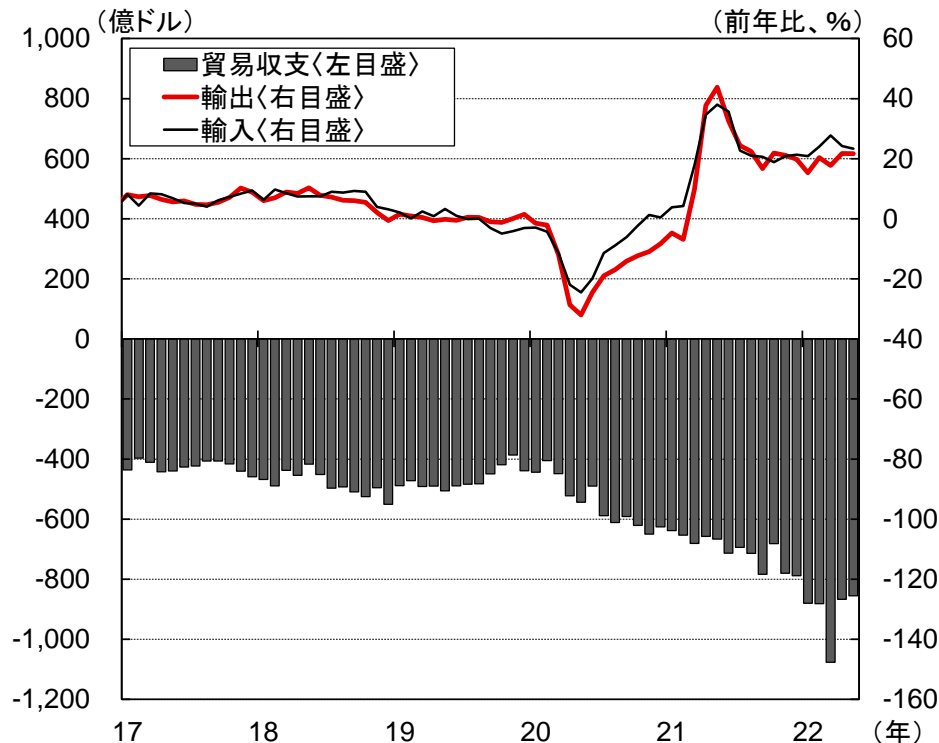


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. 国際収支

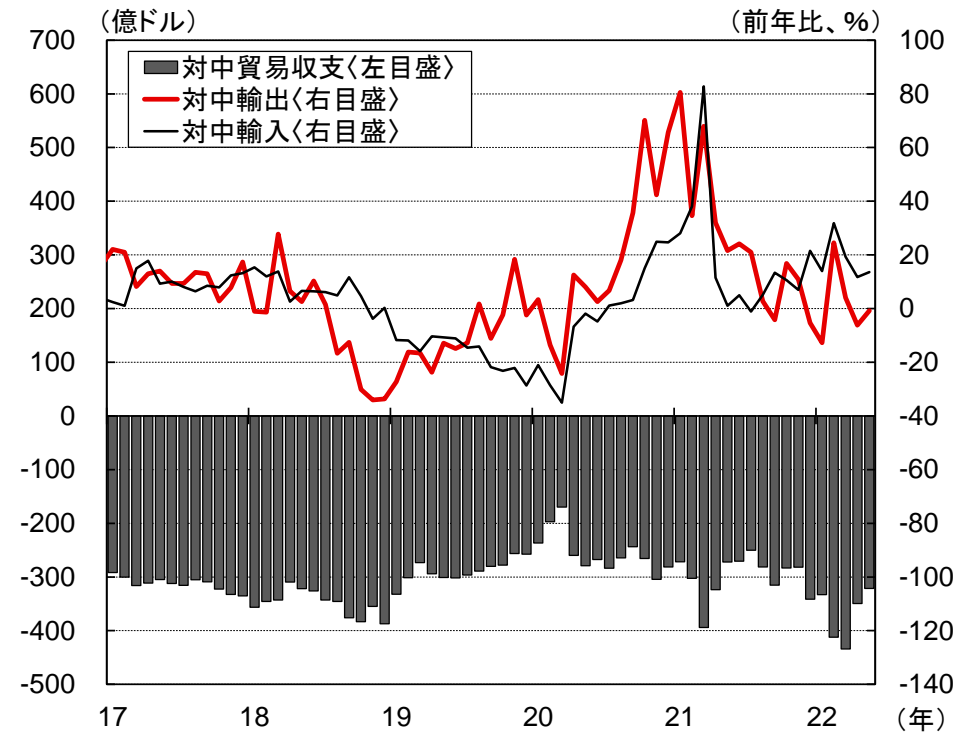
- 5月の貿易収支(財・サービス)は855億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比▲1.3%(同▲11.4億ドル)と2カ月連続で縮小。輸出は同+1.2%、輸入は同+0.6%。前年比でみると輸出は+21.7%、輸入は+23.3%。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国との貿易赤字は5月に322億ドルとなり、赤字幅は前月比▲8.0%(同▲28億ドル)と縮小。対中輸出(財)は同+4.2%と増加した一方、対中輸入(財)は同▲4.8%と減少。前年比でみると、対中輸出(財)は▲0.8%、対中輸入(財)は同+13.6%。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 金融市場動向

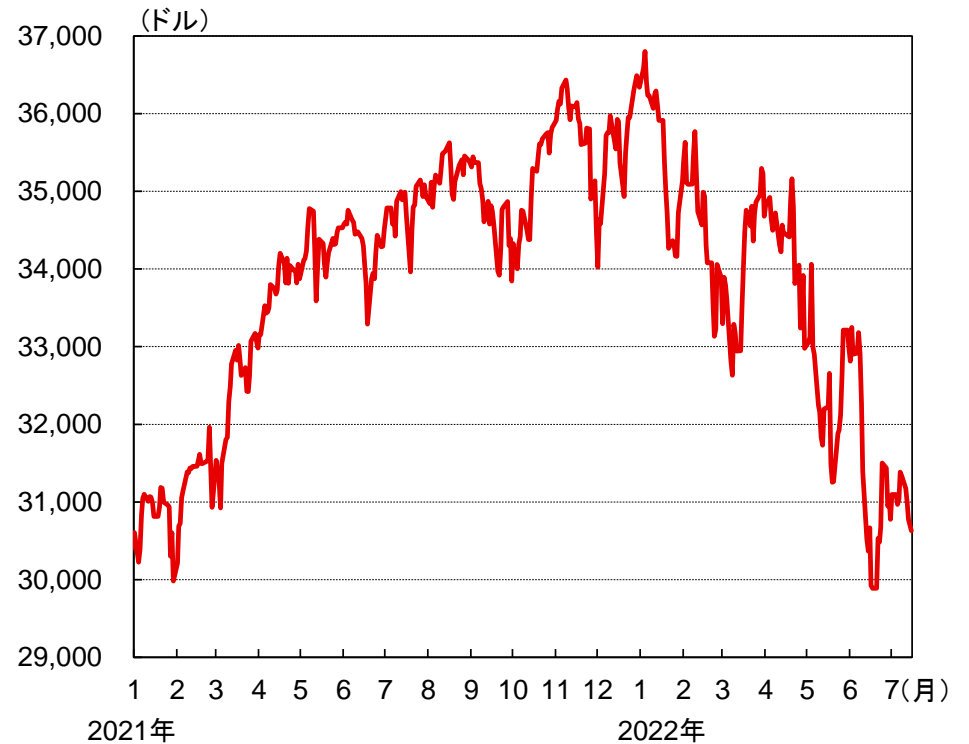
- 10年物国債利回りは、6月22日にパウエルFRB議長が議会証言において、インフレ抑制のための金融引き締めが景気後退を招く可能性を認めたこと等を受けて、金融市場では先行きの景気後退と利下げに対する織り込みが進み、足元では3%を下回って推移。
- ダウ平均株価は、利上げ加速に伴う景気後退懸念の高まりから引き続き軟調に推移。

10年物国債利回りの推移



(資料) Macrobondより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Macrobondより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		21年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	60.9	59.9	59.7	60.5	60.8	60.6	58.8	57.6	58.6	57.1	55.4	56.1	53.0	-
	ISMサービス業指数	60.7	64.1	62.2	62.6	66.7	68.4	62.3	59.9	56.5	58.3	57.1	55.9	55.3	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	100.2	100.9	100.8	99.8	101.4	102.0	101.8	102.1	103.0	103.7	104.5	104.6	104.4	-
	前月比(%)	0.4	0.7	0.0	-1.0	1.5	0.6	-0.2	0.4	0.8	0.7	0.8	0.0	-0.2	-
	設備稼働率(%)	77.7	78.2	78.2	77.4	78.6	79.0	78.7	78.9	79.5	79.9	80.4	80.3	80.0	-
	製造業受注(億ドル)	4,862	4,877	4,934	4,919	5,009	5,063	5,088	5,205	5,221	5,314	5,350	5,434	-	-
	前月比(%)	2.0	0.3	1.2	▲0.3	1.8	1.1	0.5	2.3	0.3	1.8	0.7	1.6	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	2,458	2,467	2,506	2,468	2,505	2,541	2,565	2,644	2,625	2,643	2,654	2,675	-	-
	前月比(%)	1.8	0.4	1.6	▲1.5	1.5	1.4	0.9	3.1	▲0.7	0.7	0.4	0.8	-	-
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	55.7	68.9	51.7	42.4	67.7	64.7	58.8	50.4	71.4	39.8	36.8	38.4	37.2	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	30.52	30.67	30.76	30.92	31.11	31.23	31.38	31.56	31.60	31.75	31.86	31.98	32.08	-
	前年比(%)	4.0	4.3	4.3	4.8	5.4	5.3	4.9	5.4	5.2	5.6	5.5	5.3	5.1	-
	失業率(%)	5.9	5.4	5.2	4.7	4.6	4.2	3.9	4.0	3.8	3.6	3.6	3.6	3.6	-
	個人所得(年率、億ドル)	205,705	208,353	209,163	207,198	208,849	210,250	211,201	211,251	212,618	213,847	214,909	216,043	-	-
	前月比(%)	0.3	1.3	0.4	▲0.9	0.8	0.7	0.5	0.0	0.6	0.6	0.5	0.5	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	158,020	158,149	159,911	160,889	163,095	163,909	162,423	165,433	166,358	168,312	169,239	169,566	-	-
	前月比(%)	1.1	0.1	1.1	0.6	1.4	0.5	-0.9	1.9	0.6	1.2	0.6	0.2	-	-
	貯蓄率(%)	9.5	10.5	9.8	8.1	7.5	7.6	8.7	5.8	5.8	5.3	5.2	5.4	-	-
	小売売上高(億ドル)	6,278	6,206	6,247	6,309	6,409	6,447	6,344	6,516	6,623	6,700	6,747	6,739	6,806	-
	前月比(%)	0.8	▲1.1	0.7	1.0	1.6	0.6	▲1.6	2.7	1.7	1.2	0.7	▲0.1	1.0	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,547	1,466	1,309	1,229	1,305	1,304	1,254	1,505	1,398	1,341	1,447	1,271	1,300	-
	前月比(%)	▲8.4	▲5.2	▲10.8	▲6.1	6.2	▲0.1	▲3.8	20.0	▲7.1	▲4.0	7.9	▲12.2	2.3	-
カンファレンスボード消費者信頼感指数	128.9	125.1	115.2	109.8	111.6	111.9	115.2	111.1	105.7	107.6	108.6	103.2	98.7	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	85.5	81.2	70.3	72.8	71.7	67.4	70.6	67.2	62.8	59.4	65.2	58.4	50.0	51.1	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移															
		21年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	166	157	158	156	156	171	177	178	178	172	181	155	-	-
	前月比(%)	3.7	▲5.5	0.2	▲1.1	0.3	9.1	3.6	▲5.8	6.7	▲3.4	5.5	▲14.4	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	597	603	599	618	619	633	609	649	593	575	560	541	-	-
	前月比(%)	0.8	1.0	▲0.7	3.2	0.2	2.3	▲3.8	6.6	▲8.6	▲3.0	▲2.6	▲3.4	-	-
物価	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	71	73	69	73	67	76	84	83	79	72	63	70	-	-
	前月比(%)	▲3.5	1.7	▲5.5	6.7	▲8.3	12.7	11.0	▲1.0	▲4.9	▲9.5	▲12.0	10.7	-	-
	消費者物価指数(1982~84年=100)	271.7	273.0	273.6	274.3	276.6	277.9	278.8	281.1	283.7	287.5	289.1	292.3	296.3	-
	前月比(%)	0.9	0.5	0.3	0.4	0.9	0.7	0.6	0.6	0.8	1.2	0.3	1.0	1.3	-
国際収支	前年比(%)	5.4	5.4	5.3	5.4	6.2	6.8	7.0	7.5	7.9	8.5	8.3	8.6	9.1	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	126.6	127.8	128.8	129.1	130.1	131.1	131.3	133.1	134.6	137.2	137.9	139.2	140.9	-
	前月比(%)	0.8	0.9	0.9	0.5	0.7	1.0	0.6	1.2	1.1	1.6	0.4	0.9	1.1	-
	前年比(%)	7.6	8.0	8.7	8.8	8.9	9.9	10.0	10.1	10.4	11.6	11.0	10.9	11.3	-
輸出(財、億ドル)	輸出(財、億ドル)	1,463	1,479	1,495	1,445	1,576	1,565	1,594	1,569	1,605	1,700	1,760	1,790	-	-
	輸入(財、億ドル)	2,382	2,356	2,382	2,406	2,439	2,548	2,599	2,653	2,675	2,969	2,838	2,840	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲919	▲877	▲887	▲962	▲862	▲983	▲1,005	▲1,084	▲1,070	▲1,268	▲1,078	▲1,050	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲714	▲694	▲714	▲783	▲682	▲780	▲789	▲880	▲881	▲1,077	▲867	▲855	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料)各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : cokada-wighe@us.mufg.jp